

東京都推奨映画



新渡戸稲造が明治時代に始めた「遠友夜学校」
学ぶ喜びと教える優しさにあふれる教育は
今もその地で脈々と受け継がれている。

新渡戸の夢

ドキュメンタリー映画

「学ぶことは生きる証」

新渡戸稲造

(にとべいなぞう)



在日1世の家族を描いた「HARUKO」、元ハンセン病夫婦の物語「61ha絆」ほか

野澤和之 監督作品

出演:工藤慶一 工藤朱美 藤井茂 藤田正一 佐藤邦明 須田力 濱田ヒデ 坪谷彰子 鈴木清子 岸田幸夫 田中裕子 今久美子 小林久倫 黒澤晴一
岸田久 鹿沼秀夫 高橋和の助 細井真澄 樋野興夫 札幌遠友塾自主夜間中学 平成遠友夜学校 いおぎみんなの学校 大田区立洗足池小学校
新渡戸の声:杉山由安(ビートワン) プロデューサー:宮田昌利 上田幸伺 渡辺美砂子 協力プロデューサー:田寺順史郎 赤間敏孝
ゼネラルプロデューサー:並木秀夫 撮影:高橋暢 編集:平井将人 MA:竹山公一郎 studio CATS 音楽:合田享生・t&kプロジェクト
エンディング音楽:Hug2Fool!? 広報:伊藤隼 yms inc.

2024年日本/カラー/DCP/ステレオ/91分 配給協力:協同組合ジャパン・スローシネマ・ネットワーク

製作・配給:©2024 新渡戸の夢映画製作委員会



写真提供:盛岡市先人記念館

新造 新実五と問学

“学問より実行”

新渡戸稲造が1931年、遠友夜学校を訪れた際に残した教育方針

写真提供：北海道大学大学文書館

新渡戸稲造(にとべいなぞう)と「遠友夜学校」

1862年(文久2年)～1933年(昭和8年)、享年72。現在の岩手県盛岡市、南部藩士・新渡戸十次郎の三男として生まれる。米国で出版された『BUSHIDO The Soul of Japan』(邦題：『武士道』)の著者として知られる新渡戸は、大学教授や学長を務め、教育者としての業績を残している。新渡戸が32歳の札幌農学校教授時代に、貧しくて学校に通えない人々のために妻メリーと始めたのが「遠友夜学校」である(1894年/明治27年)。生涯で唯一、新渡戸が創設した学校で、授業料無料・男女共学で年齢制限なしという当時としては画期的な学校であった。1944年(昭和19年)の閉校まで50年間で約1,170人が卒業し、富や名誉より人格形成を重んじた教育が行われた。



受け継がれる遠友の精神

「遠友夜学校」に込めた新渡戸稲造の想いは、現在どう継承されているのだろうか?その答えを探るドキュメンタリーの旅が始まる。「遠友夜学校」の卒業生は誰も生存していない現在、その痕跡を求めて卒業生の子供たちに出会い、父母から聞かされていた「遠友夜学校」の生活を彼らが語り始める。北海道大学にはボランティアサークルとして市民講座「平成遠友夜学校」が開設され札幌市民に門戸を開いている。また1990年に「札幌遠友塾自主夜間中学」が創設され、遠友夜学校の精神を今に受け継いでいる。教育を受けることができなかった人たちが、学ぶことで自己を取り戻し、夢や希望を叶えている姿が美しい。学ぶことが生きる証と喜びになっている。東京では、子供たちに新渡戸の精神を伝える「こども武士道」の教室が開かれ、130年前に創られた小さな夜学校の教育が現代に蘇っているかのようだ。今をどう生きればいいのか?映画には、そのヒントが散りばめられている。

野澤和之監督プロフィール

文化人類学を学んだ経験から社会の周縁にいる人々を描いた作品が多い。在日1世の家族を描いた「HARUKO」、元ハンセン病夫婦の物語「61ha絆」のほか、「がんと生きる言葉の処方箋」「認知症と生きる希望の処方箋」の処方箋シリーズが好評。



6月13日(金) ①10:30 ②12:30 ③14:30 ④18:30
14日(土) ①10:30 ②12:30 ③14:30

盛岡劇場メインホール

前売券 一般・シニア・大学生1200円 当日券 一般1500円 大学生1300円 中高生800円

【前売券取扱所】盛岡劇場 川徳プレイガイド ローソンチケット(Lコード 21979)

【主催】映画「新渡戸の夢」盛岡市上映実行委員会

【後援】盛岡市 盛岡市教育委員会 岩手日報社 日本経済新聞盛岡支局

【問い合わせ】IBC岩手放送 企画事業部 ☎019-623-3137

本上映の収益は「新渡戸通」看板設置費用の一部として下ノ橋町内会に寄付されます